

## 1 本時のねらい

自分の将来の消費生活計画を立てることを通して、今後必要となる収入や支出の見通しをもち、家族との生活も考え、将来に向けて自分の消費生活に役立てようとする意欲をもつことができる。

## 2 本時の評価規準

今後必要となる収入や支出に見通しをもち、今後の自分の消費生活に役立てようとする意欲をもつことができる。〈関心・意欲・態度〉

《評価方法》 ワークシート

## 3 本時の展開（2/7時）

学習の場	主な学習活動	指導・援助・留意点
願いをもち、課題をつかむ場	<p>1 本時の課題をつかむ。(T1=家庭科教師)</p> <p>今後の自分の生活の仕方やお金の使い方について、どのようなことを考えるとよいのだろう。</p> <p>2 ライフ&amp;マネープランのやり方を確認する。(T2=外部講師)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の自分の生活で必要となる収入と支出について計画を立てる。</li> </ul>	<p>1 前時までの学習と絡め、できるだけ短時間でを行うようにする。(本時の課題を確認する程度)</p> <p>2 T2が教師役、T1が生徒役となって見本を見せたり、T2がプレゼンを使って説明したりする。</p>
考えをもつ場	<p>3 ライフ&amp;マネープランを立てる。(T1・T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定したAタイプの職業に就きたい。</li> <li>将来、タレントになりたいからCタイプの職業に就きたい。</li> <li>将来は子どもが2人ほしい。だから、子どもの教育費は必要だ。</li> <li>結婚はしない。海外旅行にたくさん行く。</li> </ul>	<p>3 ①横でなく、縦に進めるよう指導する。</p> <p>②20代、30代は全員ができるように指導する。</p>
学び合う場	<p>4 ワークシート①を使って、「気付いたこと、考えたこと」をまとめる。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方が同じでも、食費や住居費やその他の出費によって、お金の残り方が変わってくる。</li> <li>20代、30代は子育てでお金がかかる。支出がマイナスになってしまった。もっと節約をしないといけない。</li> </ul>	<p>4 個別指導により、気付いたことの内容や根拠を明確にする。</p>
解決する場	<p>5 全体交流で今後の消費生活について考える。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いもよらないけがや病気になるとお金がかかるから、そのことも考えて少し余裕をもって、計画的にお金を使うとよい。</li> <li>働き方や家族構成によって生活の仕方を見るとよい。</li> </ul>	<p>5 本時のねらいに関わるキーワードを明確にし、板書に位置付ける。</p>
まとめる場	<p>6 外部講師から、お金の使い方や生き方について学ぶ。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収入と支出のバランスをとるために計画を立てることが大切である。</li> <li>生活を成り立たせるために、家族みんなで働き方やお金の使い方を考える必要がある。</li> </ul> <p>7 ワークシート②を使って、本時のまとめをする。(T1)</p> <p>生活するために、こんなにいろいろなお金がかかるなんて知らなかった。思わぬ出費に備えて、日頃からの節約が必要だけど、節約できるお金は生活費や趣味などしかないの、買い物の仕方を見直していきたい。また、家族は生活に困らないように、いろいろなことを考えてお金を使っていることが分かり、すごいなと思った。</p>	<p>6 全体交流での生徒の意見に対する評価とともに、講師の職業やこれまでの生き方と絡めて、支出について考えていくとよいこと、家族との関わり等を語っていただく。</p> <p>7 お金の使い方だけでなく、家族との関わりや生活の仕方など、多様な視点で考えている生徒のよさを価値付ける。</p>
つなげる場	<p>8 今後さらによりよい消費生活をおくるために必要な学習についてまとめ、次時の確認をする。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支出を減らすために、どんな購入の方法があるか知りたい。</li> </ul>	<p>8 次時の導入を意識して締めくくる。</p>